

99.4%新型コロナウイルス撃退！

ミネラルクオン制菌水の有効性が証明されました。

ミネラルクオン制菌水が、新型コロナウイルスを不活性化させることを、このたび群馬大学発のベンチャー企業“株式会社グッドアイ”の検査で判明しました。

検査は一般的なウイルス不活性化テストの手法で行われ、新型コロナウイルスはミネラルクオン制菌水に接触した1分後に99.4%不活性化しました。((特許出願中))

これまで、ミネラルクオン制菌水は、インフルエンザウイルスを即時不活性化する事は証明されていましたが、コロナウイルスは検査の実施が難しく、今回ようやく群馬大学発のベンチャー企業「株式会社グッドアイ」で不活性化実験をすることが出来ました。

新型コロナウイルスに対しては、一般的にアルコールが有効とされています。しかし、アルコールによる肌荒れやアレルギー反応、宗教上の制約などで、アルコールを使用できない場面も存在します。

ミネラルクオン制菌水は、パッチテスト（皮膚刺激性）もクリアしています。また、清涼飲料水の規格基準も満たしていますので（飲めるほど安全）、誤って口に入ってしまった場合も全く害はありません。

ミネラルクオン制菌水®は、多くの場面での活躍が期待されます。

【調査概要】

1. 新型コロナウイルス不活性化試験概要

実験実施責任者：株式会社グッドアイ 板橋英之（グッドアイは群馬大学学内ベンチャー）

被検体：ミネラルクオン制菌水

被検体の製法：独自製法

コントロール：反応時間0分のウイルス溶液

リファレンス：水道水

ウイルス：新型ヒトコロナウイルス（SARS-CoV-2 WK-521）

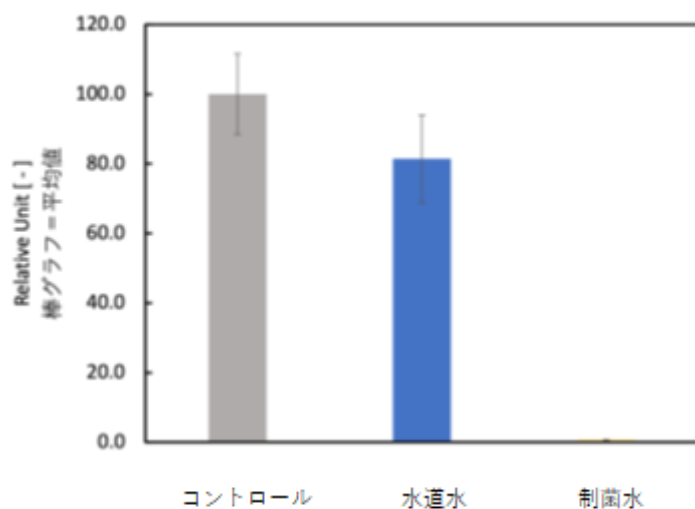
ウイルス力価（原液）： 3.6×10^4 TCID₅₀ / mL

細胞：Vero細胞（株番号：JCRB0111、培地組成：10%血清(FBS)DMEM)

実験結果：反応時間0分におけるウイルス感染価に対して、1分後に0.6%までウイルス減少が確認された。

試料名 コントロール 水道水 ミネラルクオン制菌水®

平均値	100.0	81.4	0.6
標準誤差 SE	11.5	12.6	0.3



図：コントロールのウイルス感染価を 100 とした場合の各検体におけるウイルス感染価

2. 閉鎖パッチテスト

実施機関：株式会社 SOUKEN 日時：2021 年 6 月 28~30 日

24 時間連続添付による閉鎖方パッチテストにおける皮膚刺激指数は 5.0 で安全品であった。

3. 清涼飲料水規格基準

実施機関：東京食品技術研究所 日時：2021 年 6 月 15 日

ミネラルクオン制菌水は清涼飲料水に適合

以上